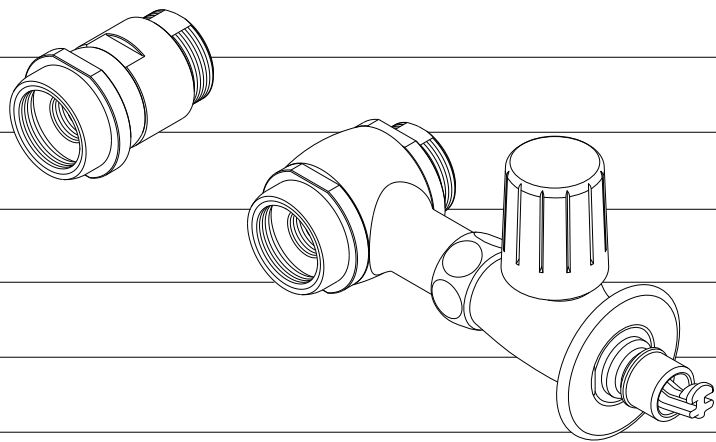




マルチ分岐 (分水つぎて型)

107-893

取扱施工説明書



施工前・使用前に必ずお読みください。

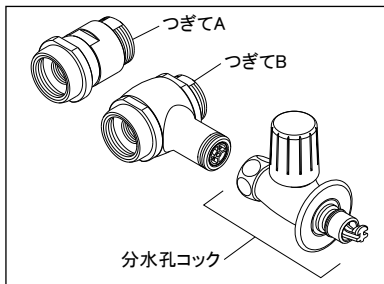
お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

このたびは、マルチ分岐(分水つぎて型)をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

製品同梱明細・各部のなまえ

■施工される際に、各部材を確認してください。

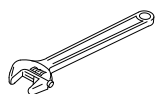
品名	個数
つぎてA	1コ
つぎてB	1コ
分水孔コック	1コ
パッキン(大)*1	4コ
パッキン(中)	2コ
パッキン(小)*2	5コ
パッキン(W28)	2コ
取扱施工説明書	1コ



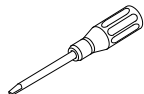
- *1 パッキン(大)4コは、あらかじめつぎてA・Bにはめ込まれています。
- *2 パッキン(小)5コのうち3コは、あらかじめつぎてA・Bおよび分水孔コックにはめ込まれています。

施工に必要な工具

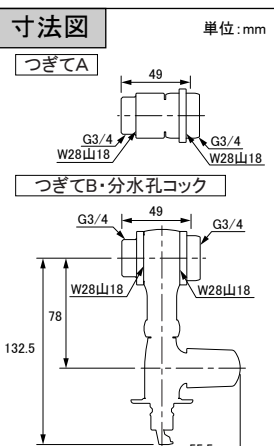
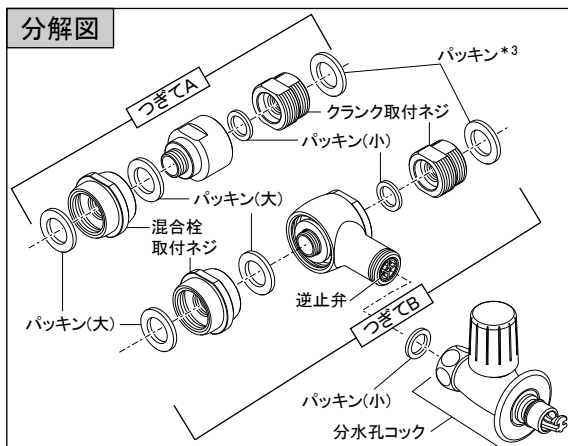
●モンキーレンチ



●マイナスドライバー



分解図・寸法図



*3 クランク取付ネジのパッキンは、使用中の混合栓により異なります。(取付方法4参照)

*製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

安全上のご注意

使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく使用してください。

注意 取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか、または物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

- 60℃以上に設定された給湯器には使用しないでください。器具の破損および故障の恐れがあります。
- 浄水器・整水器に分岐される場合は、必ず水側を分岐してください。
- 湯沸器への分岐には使用しないでください。器具の破損および故障の恐れがあります。
- 電気温水器または高温出湯タイプの給湯器には使用できません。
- 凍結の恐れがある所には設置しないでください。器具の破損および水もれの恐れがあります。
- 高温の湯を使用中、本品金属部は熱くなっていますので、直接肌を触れないでください。やけどの恐れがあります。
- 本品を取付ける水栓に指定工具がある場合は、その工具を使用してください。指定の工具以外で取付けをすると、傷をつけたり、施工不良の原因となります。

仕様

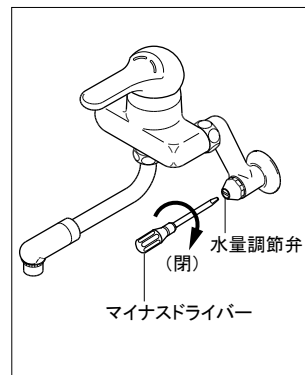
材質	青銅, 黄銅, ABS
使用流体	上水道水
使用温度	1~60℃
使用圧力	0.05~0.75MPa

取付けの前に

*数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、元栓を閉めて止水します。混合栓のハンドルを吐水状態にし、混合栓内の水を抜いてから取付け作業を行ってください。

*水量調節弁付きの混合栓を使用中の場合は、湯・水それぞれの水量調節弁をマイナスドライバーなどで閉めて止水することもできます。この時、水量調節弁が何周で閉まったかを覚えておいてください。作業終了後の通水時には、覚えておいた回数だけ水量調節弁を回してください。

- 混合栓を吐水状態にしても混合栓から水が出ないかを必ず確認してください。止水不良により水がもれ、家財に損害を与える恐れがあります。
- 取付作業を行う際は、軍手・あて布などを使用してください。手などをケガする恐れがあります。



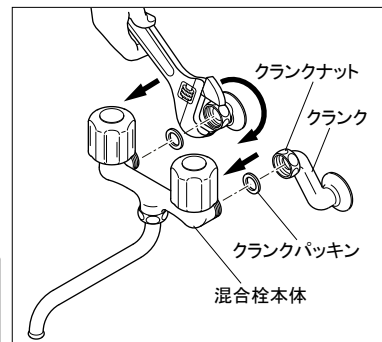
取付方法

*下記の説明で使用している水栓のイラストは、代表的な機種のもので、部品の取付け・取外しの際は、使用中の水栓の付属説明書などを合わせて確認してください。

1. 混合栓を取外します。

クランクナットを「レンチ」などで矢印の方向にまわし、混合栓本体とクランクパッキンを取外します。

*取外したクランクパッキンは、後で使用する場合があります。なくさないように注意してください。



- クランクナットをゆるめる際に、クランクが絶対に動かないようにしっかりと固定して作業を行ってください。クランクがゆるむと、水もれする恐れがあります。
- 取外しの際に、水栓やクランク内に残っていた高温の湯が出てくる恐れがありますので注意してください。やけどの恐れがあります。
- 混合栓本体は重量があります。落下などに十分注意して作業を行ってください。

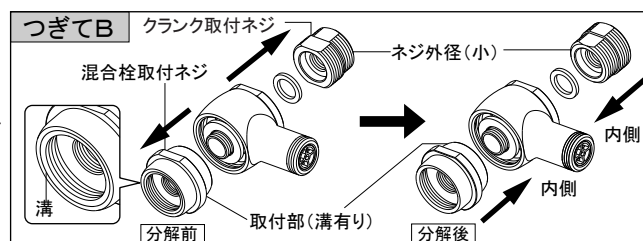
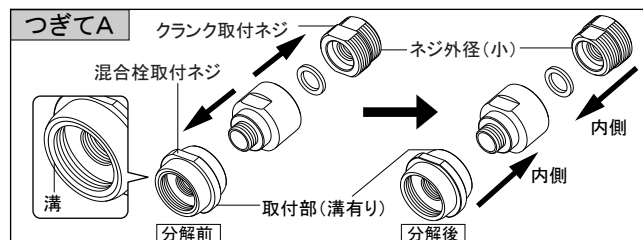
2. 本品を混合栓本体に取付ける準備をします。

使用中の混合栓に合わせて、以下の作業を行ってください。

I. TOTO製の混合栓(2ハンドル混合栓以外)に本品を取付ける場合
取付ネジサイズW28山18の混合栓

つぎてA・Bそれぞれの、混合栓取付ネジおよびクランク取付ネジをいったん取外します。右図のように、混合栓取付ネジは取付部に溝がある方(ネジサイズG3/4)を内側にし、クランク取付ネジはネジ外径の小さい方(ネジサイズG3/4)を内側にし、再度取付け、「レンチ」などでしっかりと締付けます。

*クランク取付ネジに入っていたパッキンは、再度取付ける際に同じように入れてください。



注意 クランク取付ネジなどで手をけがする恐れがあります。あて布または軍手などを用いて作業を行ってください。

取付方法(つづき)

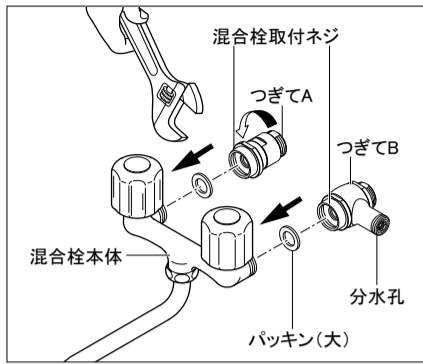
II. I以外の混合栓 取付ネジサイズG3/4の混合栓 に本品を取付ける場合

ネジ方向は購入時のままで使用して頂けますので、分解せずに、つぎてA・Bの混合栓取付ネジおよびクランク取付ネジを再度、「レンチ」などでしっかりと締付けてください。
* 万一分解してしまった際は、「前面 I のイラスト」などを参考にして分解前の状態に戻してください。

3. 混合栓本体に取付けます。

* イラストは、水側を分岐する場合を示しています。

- 湯・水どちらか分岐したい側の混合栓ネジ部に、つぎてBを取付けます。つぎてBの混合栓取付ネジにパッキン(大)が付いていることを確認してから、混合栓本体に取付け、「レンチ」などでしっかりと締付け固定します。
- 分水孔の向きは、分岐する器具に接続しやすい方向へ回転させてください。
- もう一方の混合栓ネジ部につぎてAを、①と同様にして取付けます。



! 混合栓本体は重量があります。落下などに十分注意して作業を行ってください。

* カクダイ製壁付混合栓において、1.で取外したクランクパッキンが、下図のような形状の場合は、混合栓取付ネジよりパッキン(大)を取外し、使用中のクランクパッキンをそのまま使用してください。

《0133Bを使用している混合栓》

- サーモスタット混合栓(寒冷地仕様のみ)
- オルタ(ORTA)シリーズのシングルレバー混合栓
- リンツ(LINZ)シリーズのシングルレバー混合栓
- Rond(RONDO)シリーズのシングルレバー混合栓(寒冷地仕様のみ)

(弊社品番:0133B)

クランク用
パッキン



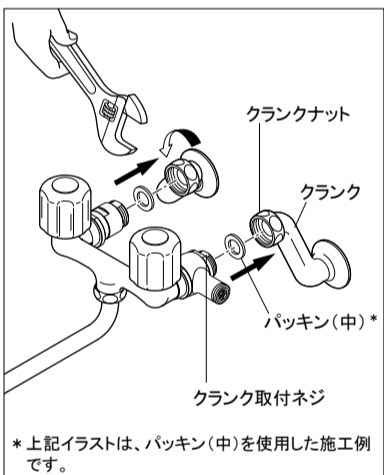
4. クランクに取付けます。

I. TOTO製の混合栓(2ハンドル混合栓以外) 取付ネジサイズW28山18 を使用の場合

使用中のクランクナットに同梱のパッキン(W28)をはめ込んでから、つぎてA・Bをクランクに取付け、クランクナットを「レンチ」などでしっかりと締付け固定します。

II. I以外の混合栓 取付ネジサイズG3/4 を使用の場合

使用中のクランクナットに同梱のパッキン(中)をはめ込んでから、つぎてA・Bをクランクに取付け、クランクナットを「レンチ」などでしっかりと締付け固定します。



* 上記イラストは、パッキン(中)を使用した施工例です。

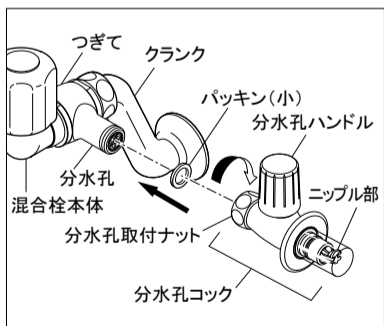
III. MYM (喜多村合金製作所)製の混合栓を使用の場合

つぎてA・Bのクランク取付ネジにパッキン(小)をはめ込んでからクランクに取付け、クランクナットを「レンチ」などでしっかりと締付け固定します。

! クランクナットを締付ける際に、クランクが絶対に動かないようにしっかりと固定して作業を行ってください。クランクがゆるむと、水もれする恐れがあります。

5. 分水孔コックを取付けます。

分水孔取付ナットにパッキン(小)をはめ込み、分水孔に分水孔取付ナットを手でまわして取付けます。その後、分水孔取付ナットを「レンチ」などでしっかりと締付けます。

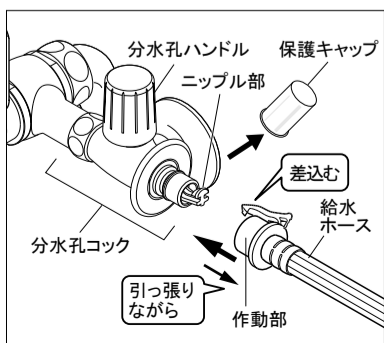


! 分水孔コックを取付ける際に、クランク・つぎて・混合栓本体が絶対に動かないようにしっかりと固定して作業を行ってください。クランクなどがゆるむと、水もれする恐れがあります。

6. 給水ホースを取付けます。

* ニップル部についている保護キャップを外してから、作業を行ってください。

分水孔ハンドルを止水状態(閉)にし、給水ホースの作動部を手前に引っ張りながら、分水孔コックのニップル部に「カチッ」と音がするまで差込みます。



! 給水ホースは急な角度に曲がらないように設置してください。吐水不良となり、十分な流量が得られない場合があります。

取付方法

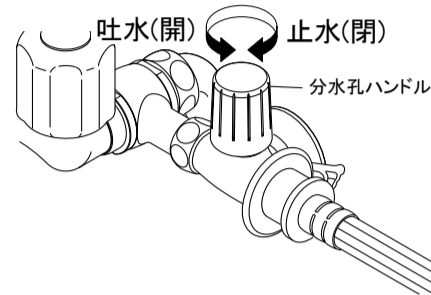
●取付後の点検

- * 使用方法の「●分水孔コックの操作方法」を参考に下記の点検を行ってください。
- ①分水孔ハンドルが止水状態(閉)にあり、ニップルに給水ホースが接続されていることを確認します。
- ②元栓または水量調節弁を元通りに開き、各部から水もれがないかを確認します。
- ③分水孔ハンドルを吐水状態(開)にして、各部から水もれがないかを確認します。
- * 水もれが発見された場合は、元栓または水量調節弁を閉めて、分水孔ハンドルを止水状態(閉)にし、水もれする箇所を施工し直してください。

使用方法

●分水孔コックの操作方法

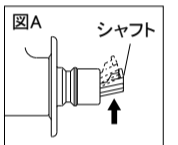
分水孔ハンドルをまわすことで、分岐側の吐水および止水ができます。



- !** ●開閉操作は必ず、給水ホースを接続してから行ってください。
- 急な開閉操作は行わないでください。
- 使用後は必ず止水状態(閉)にしてください。

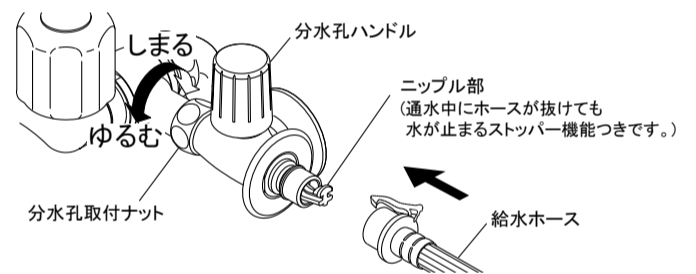
●分水孔コックのストッパー機能について

給水ホースを差込む前に通水した場合や、通水中に給水ホースが外れた場合は、分水孔ハンドルを止水状態(閉)にし、図Aの矢印の方向にシャフトを押込み、内部にたまった圧力を逃がしてから給水ホースをニップル部に差込み直してください。



* 圧力を逃がす際、ニップル内部に溜まった水がこぼれますので、タオルやビニール袋などで受けながら作業してください。

* 上記の方法で圧力を逃がせない場合は、止水栓または元栓を閉め、分水孔ハンドルを吐水状態(開)にし、分水孔取付ナットを「レンチ」などでゆるめ、完全に圧力を逃がしてから、再度取付方法に従って取付けてください。



- !** ●分水孔取付ナットをゆるめる際は、必ず止水栓または元栓を閉めてください。止水不良により水もれ、家財に損害を与える恐れがあります。
- 作業中は他の箇所がゆるまないように注意してください。
- 定期的に、本品および給水ホースの接続部などに水もれがないかを確認してください。

! 使用上の注意

- 使用される前に、必ず取付ける器具の付属説明書などで使用温度や使用条件などを確認の上、正しく使用してください。特に湯を分岐される場合は、高温の湯が出てくる恐れがありますので、使用温度に注意してください。
- 分岐と混合栓を同時に使用される場合は、必ず混合栓のハンドルは水側から開栓してください。分岐中は、混合栓から吐水されるお湯の温度が通常とは異なるため、湯側を先に開栓しますと高温の湯が出てやけどをする恐れがあります。
- 分水孔ハンドルは無理な力でまわさないでください。取付け部分がゆるみ、水もれの原因となります。
- 分水孔コックは絶対に分解しないでください。故障の原因となります。
- 分水孔コックが吐水状態(開)のときに、接続しているホースなどを取外さないでください。水もれにより家財に損害を与える恐れがあります。
- 分岐使用後は、必ず分水孔コックを止水状態(閉)にしてください。分水孔コックを長時間吐水状態(開)のまま放置すると、器具の破損および故障の原因となります。
- 定期的に、本品及び給水ホースの接続部などに水もれがないか確認してください。

ご購入店名(施工業者名)

●水と住まいの接点
株式会社 カクダイ

本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124

0111SG

M-C1946

無断転載・複写を禁ず